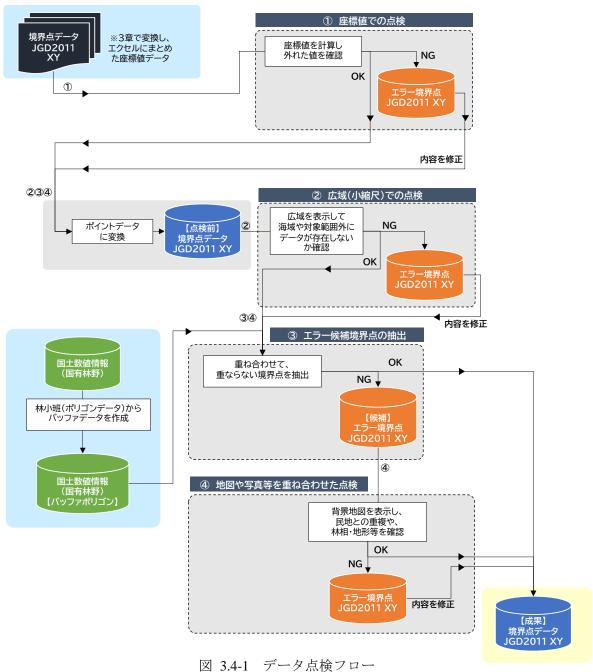
作業手順の検討と作業手順書案の作成

効率的な作業手順の検討 3.4.1

前項で整理した項目や方法をもとに、点検作業の手順を検討した(図 3.4-1)。

本手順では「1点だけ離れる」「ブロック単位のずれ」「形状が面データと異なる」「海域 /水域にデータが存在する」「宅地に被っている」「対象とは異なる区域に表示されている」 等の外れた値がないかを、エクセル上および GIS ソフトウェア上で点検する。



① 座標値での点検

誤入力を点検する目的で、座標変換した状態の数値を対象に点検を行う。確認する項目を 次に示す。

- ・2点間の距離に異常値がないか
- ・座標系の座標値に値がおさまっているか

● 2点間の距離に異常値がないか

2点間の距離に異常値がないかについては、水平距離が 100 m 以内におさまっているかど うかで判断する。

境界標の間隔は平均で約30m程度であり、原野等で50mを超える場合もあるが100mを超えることはまれである。よって、水平距離が100m以上離れている場合は、測系の境目か入力値の誤りの可能性がある。

・水平距離が入力されている場合

座標計算値と水平距離の差を確認する。水平距離は、正常であれば 0~0.1 m 程度であるため、m 単位の数値が現れる場合は、座標値の入力に誤りがある可能性がある。

・水平距離が入力されていない場合

「参考資料:座標値→方向角・夾角・距離の算出」のエクセルを用い、水平距離を算出することで確認が可能である(図 3.4-2)。



図 3.4-2 座標値から方向角・夾角・距離の算出(参考資料)

● 座標系の座標値に値がおさまっているか

各都道府県の「緯度」「経度」の範囲(表 3.4-1)に、変換した値がおさまっているかを確認する。各系の範囲内に値がおさまっていない場合は、エラーの可能性が高い。

北海道 経度 139 139 41 0 139 29 49 青森県 経度 32 宮城県 38 140 59 43 139 41 秋田県 山形県 140 38 48 139 31 12 38 46 9 39 11 8 139 37 9 28 54 茨城県 140 17 33 139 19 35 36 42 45 36 39 26 139 41 36 11 栃木県 経度 40 138 23 49 138 群馬県 36 12 49 36 29 23 139 54 1 138 42 41 35 51 50 35 58 17 埼玉県 52 54 139 44 21 43 51 35 18 43 139 16 20 139 47 46 138 54 57 35 31 7 35 24 17 139 35 神奈川県 経度 緯度
 139
 8
 4
 138
 10
 49

 35
 37
 0
 35
 42
 52

 138
 44
 22
 137
 19
 29

 35
 55
 58
 35
 48
 43
138 29 137 38 6 36 58 49 138 新潟県 137 45 48 136 46 136 58 京山県 経度 137 21 55 136 14 35 36 17 49 136 40 石川県 経度 136 49 56 135 26 58 135 42 39 11 18 17 136 16 35 136 経度 139 10 36 緯度 35 2 22 137 28 27 34 45 0 136 40

表 3.4-1 都道府県別緯度経度

			東端		西端			南端			北端		
		度	分	秒	度	分	秒	度	分	秒	度	分	秒
三重県	経度	136	59	24	135	51	12	135	58	29	136	31	42
二里乐	緯度	34	33	1	33	51	33	33	43	22	35	15	28
W to IE	経度	136	27	19	135	45	50	136	- 1	37	136	10	29
滋賀県	緯度	35	9	10	35	20	43	34	47	27	35	42	13
	経度	136	3	20	134	51	13	135	51	4	135	13	25
京都府	緯度	34	44	19	35	35	19	34	42	21	35	46	45
	経度	135	44	48	135	5	31	135	6	41	135	21	6
大阪府	緯度	34	48	6	34	18	52	34	16	19	35	3	5
				7				_					
兵庫県	経度	135	28 55	32	134	15	<u>9</u> 7	134	48 9	48	134	45	49
	緯度	34				51		34		19	35	40	29
奈良県	<u>経度</u>	136	13	48	135	32	23	135	52	20	135	42	41
	緯度	34	29	35	34	4	33	33	51	32	34	46	53
和歌山県	<u>経度</u>	136	0	48	134	59	55	135	45	12	135	37	12
	緯度	33	58	13	34	16	47	33	25	57	34	23	4
鳥取県	経度	134	30	55	133	8	9	133	16	9	134	22	12
	緯度	35	16		35	4	13	35	3	27	35	36	52
島根県	<u>経度</u>	133	23	26	131	40	4	131	49	13	131	51	49
ED-IX-SIC	緯度	36	16	15	34	30	15	34	18	9	37	14	52
岡山県	経度	134	24	47	133	16	0	133	32	1	133	59	52
岡山朱	緯度	35	9	30	35	3	11	34	17	54	35	21	10
+	経度	133	28	15	132	2	- 11	132	33	16	132	53	18
広島県	緯度	34	18	54	34	30	5	34	1	40	35	6	20
=	経度	132	29	31	130	46	29	132	8	- 1	131	7	52
山口県	緯度	33	57	22	34	6	44	33	42	46	34	47	58
	経度	134	49	20	133	39	39	134	19	8	134	36	21
徳島県	緯度	33	51	~~~	33	52	54	33	32	19	34	15	7
	経度	134	26	51	133	26	48	133	41	17	134	20	48
香川県	.性及 緯度	34	14	24	34	6	28	34	0	44	34	33	53
			41	35		0	44		27		_	16	
愛媛県	経度	133			132			132		11	133		29
	緯度	33	56	50	33	20	17	32	53	5	34	18	6
高知県	<u>経度</u>	134	18	53	132	28	47	132	32	35	133	38	36
	緯度	33	32	20	32	47	50	32	42	9	33	53	0
福岡県	<u>経度</u>	131	11	25	129	58	54	130	23	48	130	6	43
	緯度	33	33	29	33	41	23	33	0	2	34	15	0
佐賀県	経度	130	32	33	129	44	13	130	13	5	129	51	45
	緯度	33	22	22	33	34	32	32	57	2	33	37	9
長崎県	経度	130	23	25	128	6	16	128	21	3	129	26	49
75 600 345	緯度	32	46	18	32	14	38	31	58	2	34	43	43
能本県	経度	131	19	46	129	56	20	130	49	14	131	3	35
照平乐	緯度	32	49	59	32	10	29	32	5	41	33	11	43
十八旧	経度	132	10	38	130	49	29	131	55	33	131	40	4
大分県	緯度	33	2	39	33	15	4	32	42	52	33	44	26
	経度	131	53	9	130	42	12	131	19	54	131	46	0
宮崎県	緯度	32	44	45	32	3	30	31	21	23	32	50	20
<u> </u>	経度	131	12	20	128	23	43	128	26	37	130	15	1
鹿児島県	緯度	31	34	49	27	23	51	27	1	7	32	18	38
		131		56	122	55	57	123	47	18	128	13	
沖縄県	経度		19										16
L	緯度	25	57	5	24	27	5	24	2	44	27	53	9

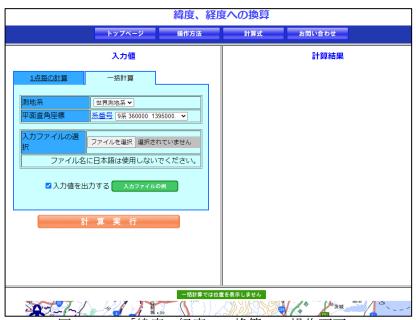
【XY 座標値を緯度経度に変換する方法】

国土地理院の提供する Web サービス「緯度、経度への換算」を使用して、XY 座標値を 緯度経度に変換する。操作方法や作成方法は TKY2JGD および PatchJGD と同様である (「別添資料: 国有林野境界情報のデジタル化のマニュアル」の 3.5-1、3.5-2 を参照)。

<入力データの作成>

国土地理院の提供する「緯度、経度への換算」は複数の境界点座標について一括で XY 座標から緯度経度座標への変換処理ができる。一括処理のデータ形式・作成方法は TKY2JGD および PatchJGD と同様である。

<「緯度、経度への換算」の操作方法>



「緯度、経度への換算」の操作画面

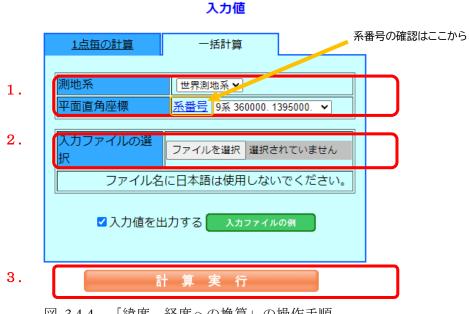


図 3.4-4 「緯度、経度への換算」の操作手順

- 1. 測地系→世界測地系、平面直角座標系→該当する座標系(不明な場合は「系 番号」をクリックし、該当する系を確認すること)(図 3.4-3、図 3.4-4)
- 2. 入力ファイルの選択
- 3. 計算実行

② 広域(小縮尺)での点検

GIS ソフトウェア上で境界点データを点検するためには、座標値をポイントデータに変換する必要がある。ポイントデータを用い、海域や対象範囲外にデータが存在しないか、広域(小縮尺)での点検を行う。

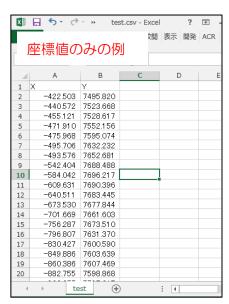
【ポイントデータへの変換】

ポイントデータへの変換手順は次のとおりである。

< 1:CSV ファイルの操作>

座標値を CSV で保存する。この際、座標値と対応する標識番号等の情報を CSV へ入力しておくと QGIS 上でラベルを表示させることができる(<4:QGIS の表示設定>)。

例えば図 3.4-5 に示すとおり、左図は A 列に列を追加し、もしくは C 列の 1 行目を標識番号とし 2 行目以降に標識番号を入力すると、座標値と同行の標識番号を表示させることができる。右図であれば、新たな列に新規入力または、A、B 列の記載を標識番号に置き換えれば表示させることができる。



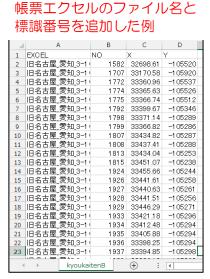


図 3.4-5 CSV の例

<2:QGISでの操作>

① QGIS を起動し、レイヤ(L)やアイコンからデータソースマネージャーを開く(図 3.4-6)。

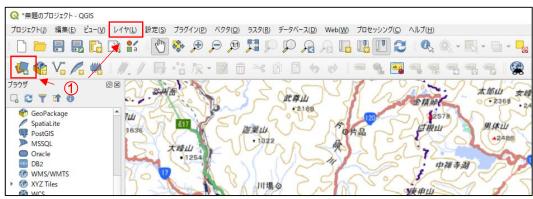


図 3.4-6 QGIS の操作1

次に、デリミティッドテキストから CSV を追加する(図 3.4-7)。手順を②~⑧に示す。

- ② デリミティッドテキストを選択する
- ③ 【ファイル名】座標値の入った CSV を選択する
- ④ 【ファイル形式】CSV
- ⑤ 【無視するヘッダー行数】ファイル初めの不要な行数を指定
- ⑥ 【Xフィールド・Yフィールド】CSVの座標値が記載された列を選択

- ⑦ 【ジオメトリの CRS】 CSV の座標値の座標系を選択
 - 例)世界測地系 2011 9 系 であれば「JGD2011 / Japan Plane Rectangular CS IX」を選択 対象となる地域の座標系が不明な場合は、「別添資料:国有林野境界情報のデジタル化のマニュアル」の「3.2 境界点座標系の確認」を確認すること。

⑧ 追加をクリック



図 3.4-7 QGIS の操作 2

⑨ 1レイヤ名を右クリック > 2エクスポート > 3地物の保存(図 3.4-8)

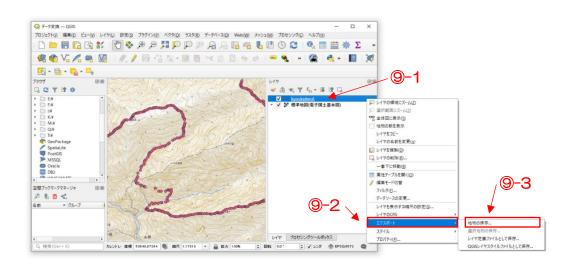


図 3.4-8 QGIS の操作 3

地物を保存する際の手順を⑩~⑬に示す(図 3.4-9)。

- ⑩ 【形式】シェープファイル形式を選択
- Ⅲ 【ファイル名】データを保存したいフォルダ、変換後のファイル名を入力
- ② 【座標参照系】適宜変更する
 - 例)世界測地系 2011 9 系 であれば「JGD2011 / Japan Plane Rectangular CS IX」を選択 対象となる地域の座標系が不明な場合は、「別添資料:国有林野境界情報のデジタル化のマニュアル」の「3.2 境界点座標系の確認」を確認すること
- ⑬ 必要項目を入力・選択後に OK をクリック で作成完了 シェープファイル

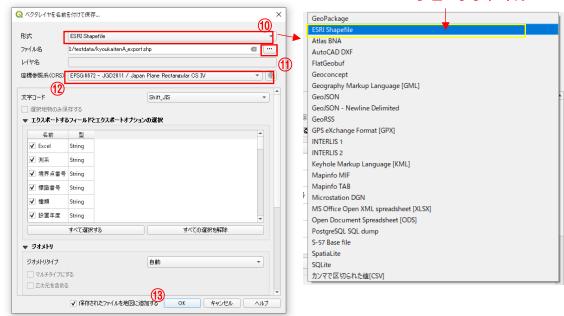


図 3.4-9 QGIS の操作 4

<3:QGISにシェープファイルのデータを表示する>

- ① QGIS を起動する
- ② エクスプローラーで対象データを表示させる
- ③ 拡張子が「*.shp」のファイルを左クリックしながら掴み、左クリックのまま QGIS の中央まで動かし、左指を離す(図 3.4-10)。(ドラッグ&ドロップする)

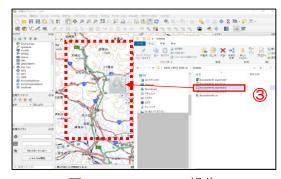


図 3.4-10 QGIS の操作 5

<4:QGIS の表示設定>

「ラベル表示」および「凡例の設定」についての手順は次のとおりである(図 3.4-11)。

① レイヤ名をダブルクリック (または、1レイヤ名を右クリック>2プロパティ)

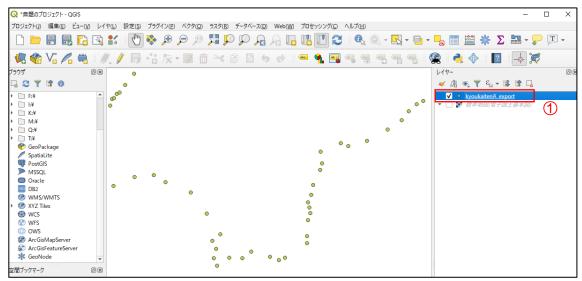
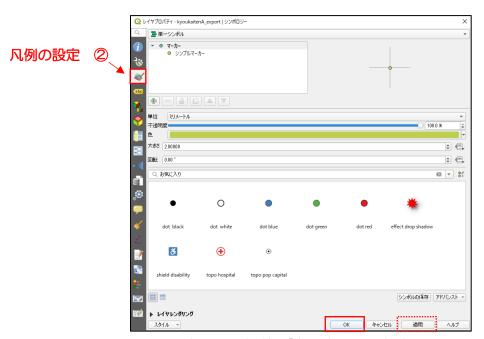


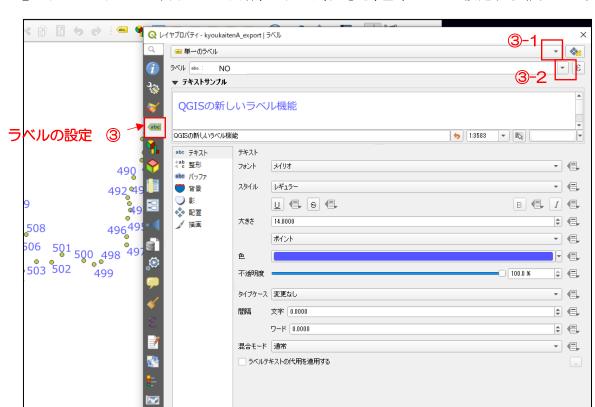
図 3.4-11 QGIS の操作 1

② ジンボロジーで色、大きさ、凡例等の設定をする(図 3.4-12)



OK をクリックする前に「適用」をクリックすると、 プロパティウィンドウを閉じずに、設定の変更結果をマップ上で確認できる ※「OK」をクリックするとプロパティウィンドウが閉じてしまうため

図 3.4-12 QGIS の操作 2



③ ラベルでラベルの表示したい内容、フォント、大きさ、色等について設定する(図 3.4-13)

OK をクリックする前に「適用」をクリックすると、 プロパティウィンドウを閉じずに、設定の変更結果をマップ上で確認できる ※「OK」をクリックするとプロパティウィンドウが閉じてしまうため

図 3.4-13 QGIS の操作 3

③-1 「単一のラベル」を選択する(図 3.4-14)

スタイル

・ラベルの非表示は「ラベルなし」を選択する。



図 3.4-14 QGIS の操作 4

③-2 ラベル表示したいフィールド名 (エクセルでいう列見出し)を選択する(図 3.4-15) 本項では仮に「NO」を表示している (標識番号を CSV に入れておけば、標識番号を表示させることが可能)

Δ	А	В	С	D
1	EXCEL	NO	Χ	Υ
2	旧名古屋_愛知_3-1	1582	32698.61	-105520
3	旧名古屋_愛知_3-1	1707	33170.58	-105920
4	旧名古屋_愛知_3-1	1772	33360.96	-105537
5	旧名古屋_愛知_3-1	1774	33365.63	-105526
6	旧名古屋_愛知_3-1	1775	33366.74	-105512
7	旧名古屋_愛知_3-1	1792	33399.67	-105346
8	旧名古屋_愛知_3-1	1798	33371.14	-105289
9	旧名古屋_愛知_3-1	1799	33366.82	-105286
10	旧名古屋_愛知_3-1	1807	33434.82	-105287
11	旧名古屋_愛知_3-1	1808	33437.41	-105288
12	旧名古屋_愛知_3-1	1813	33434.04	-105253
13	旧名古屋_愛知_3-1	1815	33451.07	-105238
14	旧名古屋_愛知_3-1	1924	33455.66	-105244
15	旧名古屋_愛知_3-1	1926	33441.61	-105258
	<u> </u>			

図 3.4-15 CSV の例

③-3 OK をクリック